

緑化だより

No.23 平成19年12月・20年1月号



紅葉と雲海

○きのこウォッチング

○樹のあれこれ

○研修会・イベント報告

11/10:秋の写真教室

○研修会・イベント紹介

○花だより

○お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp

きのこウォッチング

エノキタケ・・・すき焼きなどで食べるあの白くひよろ長いエノキタケからは想像できない野生のエノキタケの姿です。光のあたり方できのこの色が違ってくるので、暗所でもやし栽培されたのがあの白いエノキタケです。冬に発生するので **Winter Mushroom** とも呼ばれています。カキノキナバ・コウゾナバという方言名があり、カキノキ・コウゾなどに多く発生します。(食用)



エノキタケ

マツカサキノコモドキ・・・冬に発生するきのこです。きのこを引き抜くと松笠がくっついてきます。松笠の中にきのこを発生させる成分があるのか、松笠に菌が繁殖してきのこを作ります。傘の表面の色は黒褐色～灰褐色～黄土色～白色と濃い色から淡い色まで様々です。(食用)



マツカサキノコモドキ

カゴタケ・・・自然界の神秘です。いったいなぜこのような形のきのこができあがったのでしょうか。成熟すると丸かご形になります。かごの内側に暗緑褐色の胞子を含む粘液をつけフルーティーな甘い香りを放ちます。この香りで虫をひきつけているのでしょうか。(食不適)



カゴタケ

樹のあれこれ『エンジュ』

薬草園や 5 号苗畑にあります。マメ科クララ属の落葉高木です。今年は沢山の実が付きましました。中国原産で仏教の伝来頃に渡来したのではないかとされています。

葉は奇数羽状複葉で 7 月に円錐花序で淡黄色の蝶形の花を多数つけ蜂の蜜源となります。蕾を乾燥させたものは槐花(かいか)といい止血作用があると言われています。果実は数珠状のくびれたさやになります。

中国では高い官位につくとエンジュの木を植える風習があり、高貴な木とされました。また、『延寿』は寿命を延ばすに通じると言われ長寿祝いなどに植えられました。材は暗褐色で木工品などに使われます。東京には山手通り(環状 6 号線)にエンジュの街路樹があるそうです。(東京樹木探検より)



研修会・イベント報告

11月10日(土) 『秋の写真教室』

11月に入り緑化センターでは少しずつ紅葉が進んでいく中、『秋の写真教室』を開催しました。当日は土曜日ということもあり、50名の方が参加されました。デジタルカメラの普及と共に写真を趣味にされている方が増えているのを実感いたしました。

最初に先生が撮影された花や風景などのスライドを見ながら撮影のポイントなどを説明されました。

その後、外に出て園内の紅葉している樹木、アメリカフウやドウダンツツジなどを中心に各々撮影を行っていただき、参加者の中には、先生に確認してもらおう方もおられました。参加された皆さんは、共通の趣味ということもあり、あちこちで情報交換や意見交換をされている姿も見られました。当日は天候



秋の写真教室

にも恵まれ、気持ちの良い1日でしたが、コンパクトカメラでオートフォーカスの撮影をしている者としては、1眼レフカメラが欲しくなった1日でもありました。

研修会・イベント紹介

○12月7日(金) 『クリスマスリース作り』 10:00～12:00

学習室集合 講師:センター職員 佐々木 輝美
予約受付は終了しました。

○1月5日(土) 『春の七草を食べよう』 10:00～12:00

学習室集合 講師:広島県森林インストラクター 尾崎 征生 先生
春の七草:セリ・ナズナ・ハハコグサ・ハコベ・コオニタビラコ・カブ・ダイコンについて学習した後、実際に七草粥を調理して試食を行います。

6日の夜、七草をまな板の上へのせ、『七草ばやし』を大きい声で唱えながらリズムよく刻み、7日の朝お粥に入れて頂くという風習の春の七草ですが、研修会で体験していただいて、ご自宅で行ってみてはいかがでしょうか。

○1月14日(月) 『冬の樹木を見て歩こう』 10:00～12:00

管理事務所前集合 講師:植物研究家 清藤 徹 先生
種類を見分けるのに葉や花などが一番分かりやすいですが、それが難しいこの時期に、冬芽や枝ぶり、蕾などを中心に樹木観察会を行います。葉がある時にはなかなか気付きにくい特徴を見比べてみては如何でしょうか。

花だより

アオキ ミズキ科 アオキ属

12月の足音が聞こえてくるとアオキの赤い果実が葉の間から見え隠れしはじめます。

アオキは1年中青い(緑色)幹や葉からその名が付けられたもので見た目の印象が強く残る樹の一つです。学名は、*Aucuba japonica* でアオキの方言:アオキバ(青木葉)に由来します。

常緑で冬に赤い果実を付けるので特にヨーロッパでは人気のある日本特産の樹木です。(常緑樹が少なく、赤い実も少ない為)

雌雄異株であるため、実を付けるためには雄株と雌株が必要になります。

アオキはミズキの仲間です。他にヤマボウシ・アメリカハナミズキ・ミズキ・クマノミズキ・サンシュユ・ハナイカダなどがあります。その他、ミズキと名の付くものには、コウヤミズキ・トサミズキ・ヒュウガミズキ(以上マンサク科)、タマミズキ(モチノキ科)などがあり紛らわしいです。機会があれば、実物を見てそれぞれを確認してみてください。



アオキ 雄花



アオキ(斑入り) 果実

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 来月の緑化だよりは休みます

今号は合併号により、来月の緑化だよりは休みます。

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○緑化ポスター原画コンクール入賞作品展 11月28日(水)～12月24日(月)

緑化ポスターコンクールで入選した作品を展示します。

○緑化センターのツバキ写真展 翌年1月5日(土)～1月24日(木)

センター内のツバキ園で撮影した写真を展示します。園内には約200種類のツバキが植栽されています。実物もお楽しみ下さい。

○冬のバードカービング 展示中～翌年2月28日(木)迄

木彫りで作られた冬鳥や留鳥を展示。

◎ 平成19年度緑化写真コンクールの応募をお待ちしております

平成20年2月20日(水)まで受け付けています。入賞の発表は2月23日(土)の冬の写真教室で行います。

◎ 研修会:クリスマスリース作り

受付開始後すぐに予約がいっぱいになりました。ありがとうございました。参加を希望された方で、予約が間に合わなかった方は、ぜひ次回にご参加下さい。

◎ 冬期は積雪・凍結にご注意下さい